亀井和美

女性の健康週間、自分の健康は自分で守ろう

問 ①市としての女性のがん検診の受診率を上げるための具体的な取り組みは。②妊婦健診14回の公費負担は国の政策。東京都以外の医療機関での使用は可能か。③児童・生徒にインフルエンザ予防接種の公費補助を行っている自治体はあるか。

答 ①40歳・60歳に受診勧奨の案内の送付及び効果的な啓発を検討する。②東京都以外の医療機関と全国の助産所は申請による償還払いとなる。③世田谷区・台東区で実施している。

子供たちが安心して遊べる児童遊園の維持管理

問 小足立児童グランド（東野川）の不正使用について、近隣の方から市役所に数多くの苦情が寄せられている。①小足立児童グランドの位置づけ。②現状の使い方。③市民が納得できる市としての対応は。

答 ①児童遊園として開園。②原則として自由に遊べるよう開放しているが、団体での使用については許可を受け、使用料を支払えば使用可能。③ある団体が市の許可を受けずサッカー教室を開催している。使用禁止を3月中にする。

佐々木貴史

安全・安心なまちづくり

問 ①振り込め詐欺の巧妙な手口を市民に具体的に示し防止策の周知徹底を。②侵入盗を防止する「防犯診断チェックシート」の具体的な取り組みは。③マンション等集合住宅の福祉目的のための改修に対して資金援助等の見直しを。

答 ①手口と防止策のチラシを作成し高齢者に周知。②防犯協会狛江支部で地区ごとに説明会を実施、各自でダウンロードし診断する。③都のまちづくり条例の見直しを待って福祉環境整備基準を見直し、補助対象や補助額の調査・研究をする。

生命を大切に

問 ①現在大麻使用や裁判などの報道が多いが、狛江市の児童・生徒や市民に薬物乱用防止の周知徹底を。②日本では年間3万人の自殺者がいる。市民から自殺者を絶対に出さない強い決意と自殺防止の「ゲートキーパー研修」を職員に実施を。

答 ①関係部署と調整の上、ホームページに掲載し周知する。②研修は保健所で実施しており、関係部署に参加要請し、ゲートキーパーをふやす努力をする。

道下勇

公共施設再編方針委員会報告書(案)について

問 ①報告書(案)を見ての市長の所感は。②委員会では新図書館を建設する、しないと意見が分かれているが経緯は。③駅南口の自転車保管返還場所や岩戸地域センターも市長のまちづくりプランと違うが。④保育園も委員会は建てかえの方針だ。

答 ①正式な報告書をいただいた後に市としての考えを整理する。②コストの公表、機能拡充の議論で意見が分かれている。③ローリングの範囲内であると考えている。④個別計画の中で耐震診断の必要性を検討する。

3・4・16号線の整備を市長は逃げずに今度こそ判断を

問 小田急線高架下七差路整備後は電研西交差点から高架下、松葉通りから二の橋通り、世田谷通りから水道道路までの3区間になる。商店経営者などからは市長の方針が定まらないから今後の生活設計などが立てられない等の声もあるが。

答 七差路整備後に残る3区間のいずれを整備するかは一長一短があり、都の実施する水道道路拡幅の事業化に向けた折衝の中で判断するべきと考える。

正木きよし

100年一度の不況に対して緊急対策のさらなる充実を図るべき

問 ①緊急特別あっせん制度をつくるとき、市内金融機関に対して貸し渋りしないようみずから行動したか。②提案の共通商品券発行に対し増額すべきである。③大多数を占める勤労者世帯については無策である。どうするのか。

答 ①担当部で説明し、趣旨を踏まえて対応するよう要請した。②実施後の効果・要望により検討はあるが、現在の提案を早期に実施していく。③商品券発行やリフォーム対策も一般市民への支援になっていく。

障がい者雇用の促進

問 ①前回の質問から障がい者雇用率がどのようにプラスになったか。②職員採用に障がい者雇用の特別枠を設けないのか。

答 ①市長部局2・33%、教育委員会1・28%、合わせて2・13%で変わりない。②平成18年度以外は障がい者用の特別枠を設けていない。

公約の花火大会をなぜ中止にしたのか

問 平成21年度花火大会実施を選挙公約したのに、なぜ中止にしたのか。

答 金融危機が市民生活に重大な影響。平成22年度再開を目指す。

河西かず

成人式の式辞で政治的な発言はいかがなものか

問 ①大企業の内部留保金を使えば雇用は維持できるという市長の発言は共産党志位委員長の主張と同じだとご存知か。②大企業の内部留保金総額230兆円、製造業だけでも120兆円、この数字は赤旗に掲載された数字と同じだが。

答 ①委員長の主張は1月21日の記事に載っているが、私はそれより前の成人式で発言しているので、その時点では委員長の言葉は承知していない。②財務省が発表した法人企業統計調査の数字を用いている。

不慮の事故から子供を守る体制はできているのか

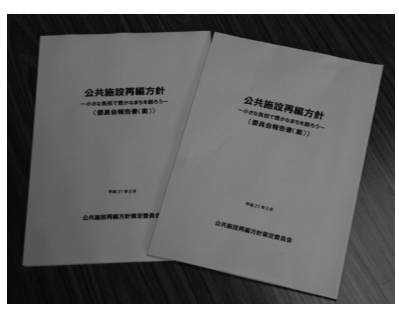
問 ①保育園での不慮の事故に備えて市はどのような危機管理意識を持ち、対応しているのか②市は万一の事故に備えて保険をかけているのか③保育ママの場合についても市で保険をかけているのか④小学生の登下校時の交通安全教育は。

答 ①危機管理マニュアルを作成し、幼い子供たちの安全対策に心がけている②公立保育園は、市として賠償保険に加入している③契約上保育ママが保険に加入することになっている④機会あるごとに具体的な行動を示しながら指導している。

公共施設再編方針策定は議会にも付議を

問 ①公共施設再編委は「まちづくり総合プラン」を公定化するための手段ではないのか②委員会はパブコメにどの程度束縛されるのか③ワークショップに参加した市民は議員を除いて何人いるのか④ぜひ議会へ付議を。

答 ①プランを公定化する上での肉付けや時代の変化に沿った手直しを検討いただいている②委員会とは異なる視点で検討した意見として尊重する③議員を含め延べ30人④答申は市長に対するもので、議会に付議を求めるのは違っている。



市原広子

20年ぶりの基本構想の改定は市民が狛江の自治を語るものに

問 ①35年前の第1次構想には、「わたくしたちは」で始まる自治理念が。市長の感想を。②4回の審議では不十分。6月議会上程にこだわるな。③20年の社会変化の何を構想に反映。④市民参加まちづくりと社会教育の関係、市の見解は。

答 ①当時としてはかなり先駆的な発想によってつくられた構想である。②一定の日程の中で最大限の努力をお願いしている。③市民参加の視点が重要である。④市民参加を活発にするには学習の機会の確保が重要である。

市民参加の手法「プラーヌンクス・ツェレ計画する細胞」について

問 ①この手法は懸案の行政課題解決のためにドイツで考案された。日本での「市民討議」はまちづくりの機運醸成に重点。この手法への市の認識は。②市民討議「どうする多摩川河川敷」に市が求めるものは何か。

答 ①「市民討議」は市民参加の手続としては議論されていないので、今後の可能性について検討し、議論をしていきたい。②討議会が多摩川を生かしたまちづくりの前進の機会となることを期待。

吉野芳子

子どもの意見を生かしたまちづくりを進めるために

問 ①07年8月の子ども議会の評価は②09年に向けての課題とスケジュールは③中学生会議の位置づけと展開④出された提案の市政への生かし方⑤市長は子どもの力を評価しているが、子どもの権利条例づくりへの道筋は。

答 ①議会や行政の仕組みを学ぶ機会と評価②教育委員会と連携し、7月中旬に実施したい③青少年の幅広い意見を聞くために実施。多くの子供たちに参加願いたい④各課に依頼し検討いただく⑤市民全体の中に機運を広げる努力を続けていく。